

## 平成 26 年度 第 2 回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

日 時：平成 26 年 6 月 30 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：議会棟 2 階第 4 委員会室

委員名簿（敬称略）			事務局出席者		
会 長	岩淵 康雄	医 師	福祉部	部 長	飯島 弘
副会長	深沢 孝志	社会福祉協議会	高齢者福祉課	課 長	清宮 勝弘
委 員	秤屋 尚生	歯科医師	介護認定班長	主 幹	島村 美恵子
〃	劔地 平子	民生委員・児童委員	介護認定班	主査補	足立 澄江
〃	瀬尾 潔	ボランティア団体	介護資格保険料班長	主 査	遠藤 和久
〃	鳥塚 キミ子	高齢者クラブ	介護給付班長	主 査	福山 利加子
〃	寺田 洋介	施設介護サービス事業者	包括支援班長	副主幹	梶 敏夫
〃	大野 哲義	在宅介護サービス事業者	包括支援班	主任主事	里吉 奏子
〃	濱田 はるみ	公募市民	介護予防班長	副主幹	山本 紀代子
〃	中川 絹子	公募市民	介護予防班	主査補	領家 玲子
〃	東野 正明	公募市民	生きがい支援班長	主 査	渡部 友昭
〃	田代 和美	公募市民	生きがい支援班	主査補	田中 さくら子
〃	能代 裕	公募市民	生きがい支援班	主 事	中村 悠里
〃	鈴木 雅之	学識経験者			

■委員欠席者：1名 鳥塚 キミ子  
（敬称略）

◆傍聴者 : 1名

○高齢者福祉課長

それでは、定刻になりましたので、始めさせていただきますと思います。本日は、お忙しい中、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の司会をさせていただきます高齢者福祉課長の清宮でございます。よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議でございますが、議事録作成のために録音しておりますので、あらかじめご了承ください。

会議に入る前に、配付資料のご確認をさせていただきます。

○事前配布資料といたしましては、

：会議次第

資料1：平成 25 年度佐倉市地域包括支援センター実績

資料2：高齢者福祉及び介護保険に関するアンケート調査票

- ①(一般高齢者)案
- ②(介護サービス利用者)案
- ③(介護サービス未利用者)案
- ④(特別養護老人ホーム入所希望者)案
- ⑤(介護サービス提供事業者)案
- ⑥(居宅介護支援事業所・地域包括支援センター)案

資料3：平成 25 年度高齢者サービス等事業実績報告について

○当日配布資料といたしまして、

資料4：「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部の施行等について

以上でございます。

それでは、ただいまより、平成 26 年度 第 2 回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会を開催いたします。

ここからは、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会設置要綱第 7 条第 1 項の規定に基づきまして、会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

●会長

それでは、規定によりまして会長が会議の議長を務めることとなっているようでございますので、私の方で進行させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●会長

まず、委員の出席状況でございますけれども、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会設置要綱第7条第2項によりまして「推進懇話会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」となっております。本日、委員の過半数が出席しておりますので、会議は成立しております。

本日の会議には傍聴人がみえております。本来、会議は公開することが原則となっておりますが、会議を公開することにより公正・円滑な議事運営が阻害されると認められる場合には、当懇話会の決定により、会議の全部または一部を公開しないことが可能となっております。本日の会議について、傍聴を認め、会議を公開することよろしいでしょうか。

～委員了承～

それでは会議を公開し、傍聴を認めますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして議事を進めます。

議事（1）佐倉市地域包括支援センターの実績等について、事務局より説明をお願いいたします。

○高齢者福祉課

地域包括支援センター実績等についてご説明させていただきます。

なお、本日は、各地域包括支援センターから管理者をお呼びしておりますので、私からは相談実績等全般的な説明をさせていただきます。

～資料1（1～25ページ）に沿って説明～

私からのご報告は以上でございます。

続きまして、各地域包括支援センター管理者より、事業実績等について、ご説明させていただきたいと思っております。

●会長

それでは、志津北部地域包括支援センターの実績等について、ご説明をお願いいたします。

○志津北部包括

～資料1（27～31ページ）に沿って説明～

●会長	何かご質問等ありませんでしょうか。
●A委員	日頃から志津北部包括支援センターの活動をよく見させてもらっています。できるだけ介護をする方だけが大変にならないように色々と努力されているということで、大切なお仕事であると思っております。今の報告を受け、今後ますます期待しています。
●会長	地域包括支援センターの認知度が低いと発表にありましたがどう思われますか。
●A委員	認知度は結構高まってきていると感じます。より一層認知度を高めるために努力するという意味でおっしゃっているのだと思います。
●B委員	民生委員に何かできることがあったら他の民生委員にも早めに伝えたいので、この場でなくても教えていただきたいです。
●C委員	相談について、高齢者の比率、特に参加者の地域別の比率の把握などは行っているのでしょうか。
○志津北部包括	相談全件のデータを持っています。農村地域は、地域の中で共助ができていたり、ご家族がいらっしゃる場所で生活しているということで相談が少ない状況ですが、私たちもなるべく民生委員さんと関わりを多く持つようにして、困っている方の把握に努めるようにしています。
●D委員	認知度は高まってきていると思いますが、何かあったときにわざわざ電話をする、タクシーを呼んで体操に行くとなると結局利用できません。地域包括支援センターだけではなく、駅や市役所などにも行けるような市の循環バスみたいなものがあれば良いのですが。
●会長	時間の関係もありますので、市でバスの方はよろしくお願ひします。それでは、志津南部地域包括支援センターの実績等について、ご説明をお願いいたします。

○志津南部包括	～資料 1 (33～38 ページ) に沿って説明～
●会長	何か質問等ございますか。
●E 委員	他の包括のかたが地域にある施設の運営推進会議に出られていると思いますが、特にそういう会議には出られていないのですか。
○志津南部包括	昨年度は依頼がなかったので参加していませんでした。今年度からは参加しております。
●F 委員	志津南部で東邦大学の薬剤師等と呼んでいるのは大変良いと思いますが、頼めば他の包括にも来てくださるのでしょうか。
○志津南部包括	それは東邦大学に確認しないと私の方ではわかりかねます。
○臼井・千代田包括	昨年度来ていただきました。聖隷の栄養士等も呼んでいます。
●F 委員	ぜひ利用させていただくのが良いと思います。それが大学病院の地域における役割だと思います。
●G 委員	職員の配置に関して、勤務年数が他の包括に比べて短いのは何か事情があるのでしょうか。
○志津南部包括	職員の退職に伴いまして勤務年数が短くなっています。
●会長	それでは、続きまして、臼井・千代田地域包括支援センターの実績等について、ご説明をお願いいたします。
○臼井・千代田包括	～資料 1 (39～42 ページ) に沿って説明～
●会長	何かご質問のある方はいらっしゃいますか。
●F 委員	臼井・千代田地域に限らないと思いますが、重症化する前に対応する方法等は考えていますか。

○臼井・千代田包括	今はご家族からの相談を待っている状況です。介護保険や介護サービスについてもっと知っていただくために、こちらから出向いてお話をさせていただくことが必要かと思っています。
●E委員	質問ではないのですが、他に比べてケアマネジャーの勤務年数が特に長いわけではないのにケアマネジャーからの相談を受けている件数が非常に多いのと、先ほど紹介されていたケアマネ連絡会などの取組み等、感心しました。
○臼井・千代田包括	励みになります。今後も頑張っていきたいと思います。
●会長	続きまして佐倉地域包括支援センターの実績等について、ご説明をお願いいたします。
○佐倉包括	～資料1（43～47ページ）に沿って説明～
●会長	何か質問等ございますか。
●F委員	出張相談会をしても、もともと意識の低い方は気づかなくて来ないのではないのでしょうか。
○佐倉包括	あらかじめ民生委員と地区の自治会に周知しています。今後は、集会所など、より身近な場所を会場としていく予定です。最初は来てもらえないかもしれませんが、回数を重ねるごとにだんだんと来てもらえればと考えています。
●会長	それでは、続きまして、南部地域包括支援センターの実績等について、ご説明をお願いいたします。
○南部包括	～資料1（49～54ページ）に沿って説明～
●会長	何かご質問はありませんでしょうか。
●H委員	エリアがとても広くて大変だろうなと思います。5つ聞かせていただいた上でのトータルということでお話しさせていただきます。みなさん委託のところなので建物の規格が違ったりしていると思いますが、看板の色が違った

<p>● H 委員</p>	<p>り、ロゴが違ったりというのは市の方で統一していただければより認知度が上がるのではないのでしょうか。事業所によっては歩道が狭かったり段差があったりして入りにくい点があるので、そちらも市の方で改善していただければ良いのではないのでしょうか。</p> <p>歯科医師会では訪問の歯科診療を市とやっていますので、各地域のケアマネにもこういう事業があるとお伝えしていただいて、もし該当するケースがありましたら、何とか市と協力できたらと思います。</p>
<p>○ 高齢者福祉課長</p>	<p>今のことは全部の地域包括に当てはまる部分だと思えます。ちょうど今年で6年目を迎えています。各地域に根付いてやっていただいています。改めてもうワンステップ上がるために、各包括支援センターが動いているところでございます。それについては次回懇話会でご意見をいただくことになっておりますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>● 会長</p>	<p>次に、議事（2）第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定に向けた高齢者実態アンケート調査について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>○ 高齢者福祉課</p>	<p>～資料2 アンケート内容説明～</p>
<p>● I 委員</p>	<p>65歳以上の人にアンケートをするのに、①の10ページや③の5ページにあるように「2号被保険者である」と答える選択肢があるのは誤植ではありませんか。また、⑤の7ページ問15の5番目の選択肢に誤植があります。</p>
<p>○ 高齢者福祉課</p>	<p>①、⑤については削除いたします。③は1号被保険者だけということではなく、介護認定がありながら介護サービスをご利用していない方を対象としています。</p>
<p>● I 委員</p>	<p>それであれば③の表紙の65歳以上にアンケートするという設問設定が合わなくなるのではありませんか。</p>
<p>○ 高齢者福祉課</p>	<p>中身をよく検討して修正します。</p>

<p>● G 委員</p>	<p>2つ質問があります。まず1つ目の質問は、それぞれ対象者と標本数をいくらとろうとしているのかということです。それに関連して、目標としている回収率はどれくらいでしょうか。</p> <p>2つ目の質問は、例えば④～⑥はアンケートという手法でやる内容かということです。アンケートを無記名、郵送でやるのではなく、直接本人にあたっていく方が良いのではないのでしょうか特に⑤や⑥は記名があっても構わないと思いますし、それによって回収率が下がってもこれはどうということかという質疑応答ができます。</p>
<p>○ 高齢者福祉課</p>	<p>①、②につきましては、標本数は1,000人を無作為抽出しまして、実施する予定です。</p> <p>①は65歳以上の高齢者約4万6,000人の中から1,000人を抽出し、②は介護認定者6,400～6,500人の中から1,000人を抽出してアンケートを行う予定です。いずれも統計学的に精度の高いデータが出るという認識で1,000人としています。③は、未利用者1,300人の中から100人を抽出して実施します。④は現在特別養護老人ホームの入所申込者が501人いらっしゃいますが、そのうち100人を対象とします。⑤は実際に市内に事業所がある介護サービス提供事業者150程度、これは1つの事業所で複数のサービスを行っている場合がありますので重複を含めて数えて200弱程度の事業所のうち、100を対象としてアンケートを実施したいと考えています。</p>
<p>○ 高齢者福祉課長</p>	<p>補足です。介護サービス提供事業者について、現状を把握するために、重複を含んで対象とします。①、②についての回収率は70%程度を前提として捉えています。</p>
<p>● 会長</p>	<p>100人で評価できるのかという点についていかがですか。</p>
<p>● J 委員</p>	<p>①、②は70%まで回収率が上がってくれば充分かと思います。③以降は100人に対して70%となると結果は参考程度になるかと思います。</p>
<p>○ 高齢者福祉課長</p>	<p>今後計画を見直す際の施策の一部として内容を回収で</p>

○高齢者福祉課長	<p>きればいいなというところです。未利用者の部分で、要支援1、2や要介護1、2の人は、とりあえず今はとっておいて、今後状態が厳しくなったときに介護保険を使っていくのだろうということを引き出せば良いという思いでアンケートの中身を作らせていただいたので、今回はこの方法で進めてみようと思っております。</p>
● I 委員	<p>特養入所希望者の場合は、誰か特定できているので、もう少し詳しく調査したら良いのではないかと思います。</p>
○高齢者福祉課長	<p>特別養護老人ホームの入所希望者については、各施設から上がってきたデータを精査した数が501名になっています。この数字は、どこかに入所しても、ある施設では申込んだままになっている等、実態とかみ合っていない部分があります。その部分がアンケートで明らかになればと思っています。全て出せば良いのですが、コストと時間とを考えると、申し訳ありませんが、ある程度絞らせていただいてのご提案になります。</p>
● K 委員	<p>⑤問2で社会福祉協議会とそれ以外の社会福祉法人に分けている意図はありますか。</p>
○高齢者福祉課長	<p>同じ社会福祉法人の中でも、社会福祉法の中では位置づけが明らかに分かれていますので区別させていただいております。</p>
● I 委員	<p>包括について質問です。臼井・千代田包括が交流会をしているという話がありましたね。佐倉市の場合は、あくまでも非公認でケアマネ交流会をやっていたと思いますが、その点は把握されていますか。</p>
○高齢者福祉課	<p>印旛郡市にケアマネ協議会というのがございます。佐倉市独自ではありません。</p>
● I 委員	<p>今度の法改正では在宅医療が中心になるという形がありますから、医師会との連携をとっていくためには、行政が間に入っていたかかないと難しい面があります。医療に関して得意な事業所だけが先行してしまうということが</p>

● I 委員	あります。もっと言えば事業者と医療の方の先生方の交流会というものについて、市が音頭をとっていただきたいです。
○高齡者福祉課	今後は包括的支援事業として在宅医療の関係が含まれますので、その中で市として実施を検討していくことになると思います。
●会長	アンケートについて他に何かありませんでしょうか。
●H委員	④4 ページ間 1 3 の選択肢 3 の表現が伝わりづらいと思います。
○高齡者福祉課長	この辺は工夫してみます。ありがとうございます。
●J委員	⑤、⑥の表紙のお願いの文章の中に、アンケートを実施する目的が書かれていないので、何か示すのが良いと思います。
●会長	よろしいでしょうか。質問が無いようでしたら、次に議事（3）平成 25 年度高齡者サービス等事業実績報告について、事務局から説明をお願いしてよろしいでしょうか。
○高齡者福祉課	～資料 3 に沿って説明～
●L委員	数値の羅列で増減はわかりますが、それについての評価のコメントをお聞きしたいです。
○高齡者福祉課	今日はそのような資料を手元に用意していませんので、今後は具体的に評価をお示しできるようなものは資料をご用意したいと思います。
●会長	他に何かありますか。
○高齡者福祉課	本日お配りさせていただいた資料 4 をご覧ください。 新しく介護保険法制度の改正がなされたため、最新情報を皆さんにお配りしました。 ～資料 4 に沿って説明～

●会長	何か質疑はありますでしょうか。
○高齢者福祉課長	次回はもう少し詳しい資料を提供しようと思っておりますので、今回はとりあえずご報告です。
●会長	そのほか何かありますでしょうか。
○高齢者福祉課	<p>懇話会の日程だけ確認させていただきます。お盆過ぎくらいから 25 日くらいの間で開催したいと考えています。ご都合の悪い期日等がございましたら、あらかじめ、この場で教えていただけるとありがたいのですが、委員のみなさんにおかれましては、ご都合等いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">～委員了承～</p> <p>それでは、細部は確認して早めにお知らせします。</p>
● I 委員	アンケート①②についてはもう決定で発送し、③～⑥についてはまだですよね。
○高齢者福祉課	①、②はこれで決定です。③～⑥についても原則これで固めて、次回 8 月の懇話会を開催するまでには発送したいと考えております。各委員さんの方で修正点、追加事項等ありましたら高齢者福祉課までご意見いただければと思います。7 月 7 日までにご連絡ください。
●会長	③～⑥の決定版は一応委員に送ってください。
○高齢者福祉課	そうですね。
●会長	<p>何か振り返ってありますでしょうか。</p> <p>それでは、平成 26 年度第 2 回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会を終了させていただきます。委員の皆さま方におかれましては、お忙しい中、ありがとうございます。次回もご出席くださるようお願いいたします。</p>